

## みんなができる対策で「暮らしと健康」を守りましょう！

従来株と比べて感染力の強い「オミクロン株」の感染が急拡大し、保健・医療体制のみならず、社会経済活動全体に影響を及ぼしつつあります。

国民の皆様におかれては、暮らしと健康を守るため、基本的な感染対策の徹底に、ご理解とご協力をお願いします。

### 基本的な感染対策の徹底を

～オミクロンでも「マスクと換気」～

- ワクチンを接種した方も含め、飛沫防止効果の高い不織布マスク等を正しく着用し、こまめな手洗い、手指消毒、体調管理、ゼロ密、積極的な換気、大声は避けるといった基本的な感染対策を徹底しましょう。
- 外出する場合は、少人数で行動し、基本的な感染対策の徹底や、時期の分散、事前・事後のPCR等検査の活用など、「うつさない」、「うつらない」行動を心掛けましょう。  
なお、まん延防止等重点措置区域をはじめとする感染拡大地域との往来は慎重にご判断ください。
- 飲食時は感染リスクが高まります。外食は、都道府県の認証等を受けたお店をご利用いただき、食事中であっても会話をする際はマスクを着用するとともに、自宅での会食を含め、家族、友人など親しい間柄であっても、感染対策を徹底しましょう。
- ワクチンの効果と副反応等のリスクを正しく理解し、まだ接種されていない方は1・2回目の接種を、2回目の接種を終えた方は追加接種を積極的にご検討ください。
- 発熱・咳など少しでも体調が悪い場合は、外出・移動を控え、医療機関に電話した上で、すぐに受診しましょう。

令和4年1月28日

全 国 知 事 会

# 全国的な感染拡大の早期抑制に向けた緊急提言【抜粋】

(令和4年2月15日 全国知事会新型コロナウイルス緊急対策本部 決定)

## 1. 感染拡大防止等について

### ① オミクロン株の特性等を踏まえた感染対策（提言書P.1）

- ・ オミクロン株の特性に応じた**保健医療体制の構築や社会活動の継続への対応**を検討し、昨年11月に公表された全体像の見直しも含め、**全般的な対応方針を明確にする**とともに、**緊急事態措置やまん延防止等重点措置における具体的な対策**については、今後も感染の実態に即した実効的な対応となるよう、**時機に応じて更に見直す**こと
- ・ オミクロン株は、従来株より重症化率が低い点が強調されているが、一部地域で深刻な医療ひっ迫を招いている現状を踏まえて、**危機的状況が国民に正しく認識されるよう、国として強く発信**すること

### ② 基本的な感染対策の再徹底（提言書P.1）

- ・ ワクチン接種者を含め、会話時のマスクの着用や手指消毒、体調管理、換気など基本的な感染対策の再徹底を**国民に分かりやすい言葉で強く呼び掛ける**こと
- ・ 特に、**家庭においても**、子供や若者から高齢者への感染を防止するために、**基本的感染防止対策を徹底**するよう注意を促すこと

### ③ 感染状況に応じた迅速な対応（提言書P.1）

- ・ 緊急事態宣言やまん延防止等重点措置については、**知事の要請に応じて迅速かつ機動的に発出**するとともに、**解除についても、オミクロン株に応じた基準を示し、都道府県の要請を踏まえて行う**こと。

- ・ これまでの感染拡大時における措置の効果や、飲食店に加え、現在、学校、幼稚園、保育所等の教育関連施設や高齢者施設において感染が広がっている状況を踏まえ、効果的な対応が選択できるよう、基本的対処方針の更なる改善も含めた対策を強化するとともに、引き続き、必要となる感染防止対策等に対する支援の充実を図ること

#### ④ 時短要請に伴う協力金の見直し（提言書P.2）

- ・ 都道府県が独自に取り組む営業時間短縮要請について、第三者認証を辞退する店舗の増加が懸念されることから、認証基準に基づく感染防止対策が継続されるよう、認証店舗に対する支援措置など十分配慮した制度とすること

#### ⑤ ワクチン・検査パッケージ制度の再検討（提言書P.3）

- ・ ワクチン・検査パッケージ制度は、オミクロン株の特性やBA.2系統の確認、ワクチン追加接種状況を踏まえて、専門的・医学的見地から取扱いを再検討すること

#### ⑥ 検査試薬及び検査キットの供給体制の確保（提言書P.3）

- ・ 検査に要する資器材の需給を早急に把握し、診療及び無料検査に必要なPCR検査等の試薬や検査キット等の安定供給に向けて早急に対策を講じること
- ・ 全国の小中学校等に配布されている抗原検査キットについて、使用期限経過により廃棄される例が相次いでいることから、期限到来前の有効活用を図ること

#### ⑦ PCR等検査の無料化（提言書P.3）

- ・ 感染拡大傾向時の一般検査事業に要する経費についても、全額国が負担するとともに、来年度以降の実施方針を明確にすること

#### ⑧ 新たな変異ウイルス感染拡大に備えた対策の検討（提言書P.4）

- ・ 海外の一部地域におけるBA.2系統の流行等も踏まえ、今後の新たな変異株等による感染拡大に備えた対策を予め検討すること

## 2. ワクチン接種の円滑な実施について

### ① 追加接種（3回目接種）の前倒しに向けた取組（提言書P.4）

- ・ 追加接種の必要性や交互接種の有効性・安全性など、国民が納得して接種できるよう、端的に分かりやすい情報発信を積極的に行い、早期接種を広く呼びかけること
- ・ 追加接種に必要となるワクチンを確実に供給し、具体的な配分量、配送日を早期に示すとともに、職域接種について、初回接種を実施してない企業等の申請を認めること

### ② 12歳未満の子供への接種（提言書P.5）

- ・ 接種の目的、ワクチンの効果や副反応、接種を推奨する対象等について、国が責任をもつてより分かりやすく丁寧な情報発信を行うとともに、相談窓口を開設すること
- ・ ワクチン供給計画等の早期情報提供など、市区町村や医療機関の負担軽減を図ること
- ・ 特に、重症化リスクのある医療的ケア児のように接種を希望する方が1日でも早く接種できるよう、必要となるワクチンを確実に供給するとともに、4月以降の具体的な配分量及び配送日を早期に示すこと

-13-

## 3. 保健・医療体制の強化について

### ① 保健・医療人材の確保（提言書P.6）

- ・ 濃厚接触による自宅待機等や保育所の休園等による出勤不能のため、看護師の確保を必要とする医療機関への看護師の労働者派遣を認めるとともに、宿泊療養施設の拡大、臨時医療施設や酸素ステーションの設置等に向けては、地域医療に影響を及ぼすことのないよう現場に配慮した上で、国として医療人材を派遣するなど広域的な対応を図ること

### ② 感染者・濃厚接触者の療養期間等の見直し（提言書P.7）

- ・ 感染者や濃厚接触者の療養期間・退院基準・健康観察期間等については、エビデンスに基づき、更なる短縮などの見直しを行うこと

- ・ 介護従事者も含め、エッセンシャルワーカーについても、検査等により毎日勤務できる取扱にするとともに、現在必要とされている待機期間の解除のための検査に係る費用は、全額、緊急包括支援交付金の対象とするなど、国において支援すること

### ③ 治療薬の活用促進等（提言書P.8）

- ・ 中和抗体薬及び経口薬について、備蓄分も含め十分な量を確保した上で、医療機関・薬局に適切に配分し、安定供給を図るとともに、備蓄の上限を緩和し、経口薬の譲渡を可能とするほか、現場の医師の判断で早期投与できるように、弾力的な運用を認めること

### ④ 医療提供体制の確保のための財政措置（提言書P.8）

- ・ オミクロン株による感染拡大は、想定した確保病床等を大きく上回ることで懸念される中、高齢者への感染が広がっていることから、高齢者施設を含めた医療体制の更なる強化に向け、財政支援の拡充をはじめ必要な支援を行うこと

14

## 4. 事業者支援及び雇用対策について

### ① 事業者への支援（提言書P.10）

- ・ 事業復活支援金について、支援額の増額や売上減少率の要件緩和、迅速な給付とともに、支援金の算定に当たっては、弾力的な制度運用とすること

### ② 地方創生臨時交付金等の弾力的な運用（提言書P.10）

- ・ 地域の実情に応じて実施する事業が幅広く対象となるよう制度を見直し、弾力的な運用等を図るとともに、配分残額の早期配分に加え、更なる財源措置を講じること

### ③ 雇用調整助成金等の特例措置の維持等（提言書P.11）

- ・ 小学校休業等対応助成金・支援金については、制度の更なる周知や相談体制の充実、手続きの簡素化、給付の迅速化を図るとともに、4月以降も延長すること

## 家庭・職場・学校等での感染対策を強化しましょう！

従来株と比べて感染力の強い「オミクロン株」が全国各地で猛威を振るい、家庭や職場、学校等で感染拡大が見られるなど、私たちの社会活動全体に影響を及ぼしています。

国民の皆様におかれては、暮らしと健康を守るため、今一度、基本的な感染対策の徹底に、ご理解とご協力をお願いします。

- ワクチンを接種した方も含め、マスクの着用など基本的な感染対策を徹底しましょう。特に子どもや高齢者への感染を防止するため、家庭内でも定期的な換気、こまめな手洗い等を実践し、同居する高齢者や基礎疾患のある方と会話をする際にはマスクの活用などを考えましょう。
- 外出する場合は、基本的な感染対策の徹底とともに、混雑を避け、時期を分散するなど、「うつさない」、「うつらない」行動を心掛けましょう。  
なお、まん延防止等重点措置区域をはじめとする感染拡大地域との往来は慎重にご判断ください。
- 飲食時は感染リスクが高まります。外食は、都道府県の認証等を受けたお店をご利用いただき、黙食を基本として、会話をする際はマスクを着用するなど、家族、友人など親しい間柄であっても感染対策を徹底しましょう。
- 発症や重症化を防ぐ効果が回復するとされているワクチンの追加接種を早めをお願いします。1・2回目のワクチンを接種されていない方も積極的にご検討ください。
- 発熱・咳など少しでも体調が悪い場合は、外出・移動を控え、医療機関に電話した上で、すぐに受診しましょう。

令和4年2月15日

全国知事会

# 中国地方知事会メッセージ ～大切な命と健康を守るために～

現在、オミクロン株の急速な感染拡大が続き、広島県と山口県に加え、島根県と岡山県でも「まん延防止等重点措置」が適用されるなど、中国地方全域で感染状況が悪化しています。大切な命と健康を守るため、感染拡大防止に県民の皆様のご協力をお願いいたします。

- 会食時も含め不織布マスク等を正しく着用し、手洗い、積極的な換気など、基本的な感染対策を今一度徹底しましょう。
- 混雑した場所や感染リスクが高い場所への外出・移動は自粛しましょう。
- 学校行事や部活動の実施は慎重に検討し、学校・保育園等での感染対策を徹底しましょう。
- 少しでも症状がある場合は、家庭内での感染を防ぐためにも、早期に医療機関で受診しましょう。

令和4年1月30日



# 関西・第6波拡大阻止徹底宣言

令和4年1月27日

感染力の強いオミクロン株により、感染が急拡大し、京都・大阪・兵庫にまん延防止等重点措置が適用されました。特に子供を中心とした若い人や家庭での感染が広がっており、高齢者への感染拡大も懸念されます。医療ひっ迫を防ぎ、社会機能を停滞させないためにも、一人ひとりが絶対に感染拡大を阻止するとの強い自覚をもって、感染対策の徹底をお願いします。

## リスクの高い行動の回避

- 混雑している場所や時間を極力避けて、少人数で行動してください。
- 会食は、認証店の利用、会話時はマスク着用の徹底をお願いします。
- 学校行事や部活動の実施は慎重に検討し、学校・保育園等での感染対策の徹底をお願いします。
- 発熱等の症状がある場合、旅行、イベントへの参加等は控えて下さい。

## 基本的な感染対策の徹底

- 3密の回避、マスクの着用（不織布マスクを奨励）、手洗いや手指消毒、換気など、日常生活での基本的な感染対策の徹底をお願いします。
- 発熱、せきなど少しでも体調が悪い場合は、通勤・通学・通園をやめ、医療機関に電話のうえ受診してください。企業・学校等での休みやすい環境整備をお願いします。
- 事業所等におかれは、テレワークの拡大や事業継続計画の点検・策定・運用をお願いします。特に重症化リスクのある従業員等への就業上の配慮をお願いします。

## ワクチンの積極的な接種

- ワクチンの積極的な接種とともに、接種後も基本的な感染対策の徹底をお願いします。



# 要 望 書

令和 4 年 2 月  
関西広域連合

貴社におかれましては、日頃より鉄道事業の安全の確保と利用者への安定した輸送サービスの提供にご尽力いただいておりますことに対して厚くお礼申し上げます。

さて、鉄道は、府県市民の生活や地域の産業を支える重要な交通機関であるため、昨年12月17日に発表された令和4年3月に実施される現行ダイヤの減便や区間短縮、また、一部報道での路線見直し方針などは、日常の移動に公共交通を必要としている府県市民や、公共交通を利用して来訪される観光客の利便性を低下させ、さらなる利用者の減少を招くものであり、地元自治体の生活基盤を揺るがしかねず、ひいては関西全体の活力低下につながりかねません。

つきましては、新型コロナウイルス感染症により社会経済活動全般が大きな影響を受けたことにより、貴社におかれましても非常に厳しい経営環境にあるということは重々理解しておりますが、昨年7月の要望に引き続き、下記の事項について特段の御配慮を賜りたく、再度、ここに強く要望いたします。

#### 記

- 1 ダイヤ改正については、利用者はもちろん、地元自治体への事前周知・説明を十分に行い、協議の場を設けるなど、理解を得られるよう、引き続き努めること。
- 2 令和4年3月のダイヤ改正において、運行間隔が大幅に拡大されるエリアの列車の減便や区間短縮を見直すなど、利用者の利便性に十分配慮するよう、努めること。
- 3 やむを得ず減便や区間短縮をする場合であっても、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う暫定措置とし、コロナ収束後は、地元自治体などと協力し、速やかにダイヤの復活に向け取り組むよう、努めること。
- 4 令和4年3月のダイヤ改正に加え、輸送密度2,000人以下区間の路線見直しや支社再編などが報道されているところであるが、今後、急進的な合理化が地方路線の切捨てにつながらないよう、地元自治体との事前協議の場を設けるなど関係者と密に連携協力し、必要な地域交通の維持や利便性の向上に取り組むよう、努めること。
- 5 このコロナ禍においては、今後も引き続き、国の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」を踏まえた府県市の協力依頼等について配慮するよう、努めること。

令和4年2月7日

西日本旅客鉄道株式会社

代表取締役社長 長谷川 一明 様

関西広域連合

広域連合長 仁坂 吉伸